



会報

No.44

2018年1月1日発行

発行／日本コンプライアンス・オフィサー協会 発行責任者／和田 新
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 (03) 3267-4826 ホームページ <http://jcoa.khk.co.jp/>

AIの利活用とコンプライアンス

日本コンプライアンス・オフィサー協会会長 長谷川 俊明

AI（人工知能）の発達と利用・活用が職場での「働き方」を変えようとしています。AIがとって代わるであろう職業のランキングを調査機関が発表するなど、仕事をAIに奪われるのではないかと本気で心配する向きもあるようです。たしかに、もともとコンピューターが最も得意とする計算・仕訳作業などの多くは、人間の手から離れていくことでしょう。

先日、ある大手の監査法人が、企業会計の異常値をAIが検出するシステムを開発し、企業の会計監査で運用を始めたと発表しました。売上高や費用を分類する仕訳作業にAIを使い、不正につながるような異常な資金の動きがないかをチェックするそうです。企業による会計不祥事が相次ぐ中で、AIの導入によって不正を発見しやすくするのが目的です。

株式会社の会計は、「一般に公正妥当と認められる企業会計の慣行に従う」ように会社法431条が求めており、会計不祥事のほとんどはコンプライアンスの問題と言わなくてはなりません。

今後、企業会計分野を筆頭にして、広くコンプライアンスのチェックにAIを使うことができそうです。AIのもつ高度なデータ収集・分析能力をコンプライアンスにも活用しない手はないのではないかと考えられます。

企業にとって、コンプライアンスは「体制構築」の問題です。コンプライアンス、すなわち法令をはじめとした社会のルールを尊重・遵守するのは、社会の一員である企業として当然のことではありません。企業が取り組むべきは、内部統制の主要な柱であるコンプライアンス体制の構築です。近時は、この体制をリスク管理と一体をなすものとして捉えます。いま企業に最大のリスクをもたらすコンプライアンス・リスクをいかに防止し管理するかが問われています。

そのリスク管理フローの入口部分で行われるリスクの洗い出しや想定作業にAIを使うべきでしょう。人間がふつう気付かないようなリスクを洗い出し分析するのがAIの“得意技”です。すでに損害保険会社では、自動車保険の保険料を、AIを使ってリスク分析をしたうえで算出しています。

また、与信業務の審査にAIを使い始めている銀行もあるようです。何十万社もの取引先の支払履歴や倒産情報などをAIが分析し判断するので、従来、人が1件に2時間かけて審査していたものが、AIなら1秒以内でできるそうです。

そうすると、近い将来、AIを使ってリスクを洗い出し分析をしないならば、コンプライアンス体制の不備とされるようになるかもしれません。

コンプライアンス・オフィサー認定試験 成績結果

昨年10月22日(日)に実施した第42回コンプライアンス・オフィサー認定試験の試験結果がまとまりましたのでご報告いたします。

●金融コンプライアンス・オフィサー1級

成績結果は、〔表-1〕のとおりです。

応募者数844名中受験者は666名で、認定者は263名でした。認定率は39.49%、平均点は55.74点で、ともに前を下回りました。

問題では、〔問題-2〕反社会的勢力への対応、〔問題-5〕背任罪、が良好な結果でした。〔問題-2〕に関しては受験者において知識が定着していることがうかがわれました。また〔問題-5〕は頻出のテーマでもあり、高得点の受験者も多かったです。

一方、〔問題-3〕見せ金、〔問題-9〕任意後見制度、が低調な結果でした。〔問題-3〕については、「見せ金」がテーマとなっている問題と理解せずに解答をしている答案も多くありました。また〔問題-9〕に関しては、任意後見制度の仕組みについての確に理解していない答案が見受けられました。

記述式の種目においては、確実な知識を身に付けたうえで解答することが肝要です。

●金融コンプライアンス・オフィサー2級

成績結果は、〔表-2〕のとおりです。

応募者数4,915名中受験者は4,527名で、認定者は3,466名でした。認定率は76.56%、平均点は70.51点で、ともに前を下回りました。

正解率が30%を下回った問題は、〔問-5〕取締役の役割・責任、の1問でした。〔問-5〕はこれまであまり出題されてこなかったテーマであった

ことが低調の要因の1つと思われます。

なお、正解率30%は上回りましたが、〔問-4〕株主代表訴訟、〔問-48〕セクシュアル・ハラスメント、も低調な結果でした。両問とも頻出のテーマですので、関連知識も含め知識の定着を万全とし、どのようなかたちで出題されても解答できるようにしておくことが重要です。そのためには、問題解説集とともに、受験対策のための参考書も併せて学習するなど、知識に厚みをもたせることが望まれます。

●保険コンプライアンス・オフィサー2級

成績結果は、〔表-3〕のとおりです。

応募者数1,096名中受験者は994名で、認定者は763名でした。認定率は76.76%、平均点は67.69点で、ともに前を上回りました。

正解率が30%を下回った問題は、〔問-23〕保険金受取人の指定・変更、〔問-27〕未成年者等に対する保険金の支払い、〔問-34〕団体保険等(被保険者の同意)、〔問-36〕共通報告基準(日本版CRS)とFATCAの4問でした。

このうち〔問-36〕について、FATCAとは、米国納税義務者の租税回避を防ぐ目的で、米国外の金融機関に対し、顧客が米国納税義務者であるか確認等を求める米国法です。一方、共通報告基準(日本版CRS)は、外国の金融口座を利用した国際的な脱税・租税回避に対処するために、OECDで策定された「共通報告基準(CRS)」に従って、金融機関が非居住者に係る金融口座情報を税務当局に報告し、これを各国の税務当局間で互いに提供する制度です。根拠となる法令等を参照して、それぞれの概要および異同について、理解することが求められます。

〔表－1〕 金融コンプライアンス・オフィサー 1級 業態別成績一覧表

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	6	398	113	38	85	18	29	16	2	2	48	89	844
応募比率(%)	0.71	47.16	13.39	4.50	10.07	2.13	3.44	1.90	0.24	0.24	5.69	10.55	100.00
受験者数(名)	6	330	75	26	75	16	26	10	2	1	44	55	666
受験率(%)	100.00	82.91	66.37	68.42	88.24	88.89	89.66	62.50	100.00	50.00	91.67	61.80	78.91
認定者数(名)	3	129	40	8	23	2	8	4	0	0	12	34	263
認定率(%)	50.00	39.09	53.33	30.77	30.67	12.50	30.77	40.00	0.00	0.00	27.27	61.82	39.49
平均点(点)	59.83	56.37	57.85	51.77	51.87	48.50	54.42	54.40	45.00	45.00	52.18	62.16	55.74
年齢(歳)	43.5	39.9	38.2	40.7	42.3	44.3	45.3	42.4	52.5	24.0	49.9	41.9	41.2
勤続年数(年)	16.0	16.7	14.4	17.1	18.7	16.7	21.8	18.8	28.5	1.0	24.0	16.8	17.3

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

〔表－2〕 金融コンプライアンス・オフィサー 2級 業態別成績一覧表

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	199	849	572	315	840	428	842	92	8	3	28	739	4,915
応募比率(%)	4.05	17.27	11.64	6.41	17.09	8.71	17.13	1.87	0.16	0.06	0.57	15.04	100.00
受験者数(名)	191	784	535	300	768	381	788	90	8	3	28	651	4,527
受験率(%)	95.98	92.34	93.53	95.24	91.43	89.02	93.59	97.83	100.00	100.00	100.00	88.09	92.11
認定者数(名)	173	675	495	232	554	208	469	77	7	3	28	545	3,466
認定率(%)	90.58	86.10	92.52	77.33	72.14	54.59	59.52	85.56	87.50	100.00	100.00	83.72	76.56
平均点(点)	76.92	73.25	75.76	70.28	68.54	62.03	65.55	73.93	72.25	80.67	79.57	73.45	70.51
年齢(歳)	31.0	31.3	28.6	30.5	31.7	29.2	36.1	30.5	51.3	36.7	48.9	33.5	32.1
勤続年数(年)	6.7	8.2	4.4	7.8	8.9	7.1	12.0	6.4	26.1	7.0	28.7	8.4	8.4

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

〔表－3〕 保険コンプライアンス・オフィサー 2級 業態別成績一覧表

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	0	181	0	9	40	12	302	0	185	0	25	342	1,096
応募比率(%)	0.00	16.51	0.00	0.82	3.65	1.09	27.55	0.00	16.88	0.00	2.28	31.20	100.00
受験者数(名)	0	170	0	8	40	11	285	0	159	0	25	296	994
受験率(%)	0.00	93.92	0.00	88.89	100.00	91.67	94.37	0.00	85.95	0.00	100.00	86.55	90.69
認定者数(名)	0	147	0	8	27	8	131	0	149	0	21	272	763
認定率(%)	0.00	86.47	0.00	100.00	67.50	72.73	45.96	0.00	93.71	0.00	84.00	91.89	76.76
平均点(点)	0.00	69.91	0.00	68.75	64.35	67.09	57.49	0.00	73.90	0.00	68.80	73.26	67.69
年齢(歳)	0.0	38.5	0.0	42.5	41.1	32.8	37.7	0.0	39.0	0.0	40.6	44.6	40.3
勤続年数(年)	0.0	16.2	0.0	21.1	15.5	8.7	14.5	0.0	13.7	0.0	15.8	18.9	16.0

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

第42回 金融コンプライアンス・オフィサー 2 級試験 都道府県別認定率ランキング

第42回コンプライアンス・オフィサー認定試験の成績結果につきましては2、3頁でご紹介しましたが、金融コンプライアンス・オフィサー2級で認定率が上位5位の都道府県は下記のとおりです。

* 申込20名以上の団体を対象としています。また、「都道府県別」については、各団体の本店所在地を都道府県に置き換えて集計・作成しています（なお、同順位の場合、五十音順で掲載）。

★金融コンプライアンス・オフィサー2級認定率…全国平均76.56%

		認定率	受験者数	認定者数
1位	愛媛県	96.30%	135名	130名
1位	北海道	96.30%	27名	26名
3位	京都府	95.00%	80名	76名
4位	山口県	91.18%	34名	31名
5位	愛知県	90.00%	60名	54名
5位	栃木県	90.00%	20名	18名

〔2018年3月実施〕

コンプライアンス・オフィサー認定試験のご案内

実施日	願書受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
第43回 2018年 3月4日(日)	2018年 1月5日(金) ～1月18日(木) 必着	J Aコンプライアンス3級	三択一マークシート式	13:30～15:00 (90分)	3,240円 (税込)

〔2018年6月実施〕

コンプライアンス・オフィサー認定試験のご案内

実施日	願書受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
第44回 2018年 6月3日(日)	2018年 4月2日(月) ～4月17日(火) 必着	金融コンプライアンス・ オフィサー1級	記述式	13:30～16:30 (180分)	6,480円 (税込)
		金融コンプライアンス・ オフィサー2級	四択一マークシート式	10:00～12:30 (150分)	4,320円 (税込)
		金融個人情報保護 オフィサー2級	三択一式／ 事例付記述式	10:00～12:30 (150分)	4,320円 (税込)